

学校 教育 目標	自分 友だち 社会の幸せをつくる子ども				
	創立 94 周年	学校長 本庄 則子	副校長 神山 聡	2 学期制	一般学級: 24 個別支援学級: 4
学校 概要	児童生徒数: 725 人 主な関係校: 栗田谷中学校 青木小学校 二谷小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	栗田谷中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自己理解と自己表現> <協働性> <社会生活との関わり>	栗田谷中学校 青木小学校 二谷小学校	未来を拓き、心豊かに生きる子 道徳の授業から、「自己肯定感」を高めるための指導や学習のあり方について探り、「重点化する内容項目」や全体計画を整理したり、9年間の学びのプロセスが見える形でカリキュラムにまとめたりする。

中期 取組 目標	学校教育目標の実現に向け、ESD(持続可能な社会の担い手を育む共育)を学校経営の中核理念として位置付け、教職員・家庭・地域との共通理解を深め、社会との協働による学校運営を進めます。 ○一人ひとりの子どもが、人や社会とのかかわりの中で学習を進め、常に学ぶことの意義をもち主体的に学習に取り組むことにより学力の向上を目指します。 ○学校生活全体を通して、一人ひとりの子どもが自己有用感をもって自分のキャリア形成とこれからの社会づくりへの参画の意識を高め、共生社会に向けた価値観の育成を目指します。 ○子どもの学びを通して、学校内のみならず地域社会とともにESDの推進を進め、これからのよりよい地域づくり・社会づくりに寄与できるコミュニティスクールを目指します。
----------------	---

重点取組分野	具体的取組
知 確かな学力 担当 学力向上推進部	①全学級でユニバーサルデザインを意識した授業づくりを図る。②今年度の学習内容を全員が理解できるように、学習計画を工夫して立てる。③授業での学習と家庭学習を関連させて、基礎・基本の確実な定着を目指す。④生活科や総合的な学習の時間を中心に、「ひと」、「もの」、「こと」とのかかわりを意識した中で、主体的に問題解決する力を育成する。
徳 豊かな心 担当 豊かな心育成推進部	①3密を避けつつも、つながりを深められるペア学年活動の在り方を工夫する。②地域や様々な人と関わる場を設定する。③コロナ禍における心と体のケアのために、子どもの社会的スキル横浜プログラム(Y-P)を意図的・計画的に活用する。
体 健やかな体 担当 安全・健康な体づくり育成推進部	①体育学習では、校庭・グラウンド・体育館を有効に活用しながら、体づくり運動を中心に、十分な運動量を確保できるようにする。②休み時間など、学年全員が外で遊ぶ日や体育館で遊べる日を設定し、身体を動かす習慣を付けるようにする。③すくすくプロジェクト(学校保健委員会)を充実させる。
公開 ESD推進 担当 ESD・業務改善推進部	①生活科と総合的な学習の時間+関連する教科・領域を中心とした学習活動を充実させる。②ユネスコスクールのネットワークを活用する。③ESDの視点で全ての教育活動を整理し、推進していく。④ESDを地域に積極的に発信する。
いじめへの対応 担当 いじめ防止対策委員会	①「特別の教科 道徳」において、児童に自己を見つめ、より多角的・多面的にとらえ、自らの考えを深める力を育む学習を用意する。②児童支援専任が核となって、休校期間も含めた児童理解やいじめ防止・対応に向けた校内研修を計画的に実施する。教職員一人ひとりがいじめに対する感度を高め、日常的に点検し、積極的な認知に努める。
人材育成・組織運営(働き方) 担当 教務部、ESD業務改善推進部	①学校運営協議会における意見・審議内容や保護者アンケートの結果について、教職員で共通理解を深め、その具現化に向けた組織的な学校運営を行う。②オンライン化、ペーパーレス化の視点から業務フロー・会議フローの改善、ICTの活用を図り、積極的に業務改善に取り組む。③主体的・相互的な学びの場としてメンターチームを機能させ、ミドルリーダーがそのサポートにあたる。
児童生徒指導 担当 豊かな心育成推進部	①「幸ヶ谷っ子ルール＆マナー」として、子どもたちに学校のきまりやマナーを分かりやすく伝えたり、保護者に文書や懇談会等で周知を図ったりし、全校で定着させる。②職員会議で児童理解を図る時間を定例化し、全職員で児童の実態把握と指導方針を共有する。
地域連携・学校運営協議会 担当 教務部、ESD業務改善推進部	①幸ヶ谷共育倶楽部を中心に、学習活動、読書活動、緑化活動、安全見守りなど様々な教育活動において、計画的な連携協力を進める。②学校運営協議会において、学校運営や活動支援、学校評価、いじめ防止について協議し、支援を仰ぎ、学校側も地域のコミュニティづくりに寄与する。
担当	
担当	